

6 社会資本整備の推進

(5) 交通の円滑化などによりまちづくりを促進する連続立体交差事業の推進

国への提案事項

広島市東部地区連続立体交差事業の着実な推進に必要な財政措置

交通の円滑化，市街地の分断の解消及び踏切の安全確保を実現し，まちづくりを促進する連続立体交差事業の実施には，長期的に巨額の事業費が必要であるため，着実な事業推進に必要な財政措置を行うこと。



鉄道高架と関連街路の整備イメージ(JR向洋駅付近)

【提案先省庁:財務省,国土交通省】

6 社会資本整備の推進

(5) 交通の円滑化などによりまちづくりを促進する連続立体交差事業の推進

現状

【地域の状況】

- 広島都市圏東部地域では、鉄道による市街地分断が効率的な基盤整備を阻害
- 踏切が多数(16箇所)あり、踏切遮断による交通渋滞や踏切事故が発生

【取組の状況】

- 平成30年2月に、県、広島市、府中町、海田町の関係4者で見直し内容を基本に事業を進める事を合意。
- 早期工事着手を目指し、都市計画変更や事業認可の手続きを進め、詳細設計などの取組を推進。

【国の対応状況】

令和元年度に創設された新規支援制度

連続立体交差事業について、計画的かつ集中的に支援するための個別補助制度を創設された。

連続立体交差事業と連携したまちづくり



多くの歩行者に踏切遮断の影響



青崎第10踏切(府中町)
(歩行者ボトルネック踏切)

事業区間内の緊急に対策の検討が必要な踏切

1時間当たり最大約44分の踏切遮断



新町踏切(海田町)
(開かずの踏切)

課題

広島市東部地区連続立体交差事業の実施には

- 長期的に巨額の事業費が必要
- 着実に事業推進できる財政措置が必要
- 財政状況の厳しい地方負担の軽減が必要

